

車軸をそこに通す重要部品であるが、その機能を実現しているのは何も無い空間部分である。陶器の器も、その何も無い空間が容器としての機能を実現している。戸口や、窓の穴をあけて家を作る。その何も無い空間があって、家は家としての役目を実現するのである。つまり、道具でも家でも、存在するものが持つ有用性は、実は存在しないものの有用性の上に成り立っているのである、と。

(『老子』第11章)

上善は水の如し

孔子は、「知者は水を楽しみ、仁者は山を楽しむ」(「雍也」)と述べたが、老子は最上の善を水にたとえている。「上善は水の如し。水は善く万物を利して而かも争わず。衆人の悪む所に処る。故に道に幾し」(『老子』第8章)。あらゆるものを恵み潤おし、他と争うことなく、いつも人のさげすむ低いところに身をおいている。だからこそ、道のあり方に近いというのである。

(『論語』の引用は金谷治訳注『論語』岩波文庫、

『老子』の引用は小川環樹訳注『老子』中公文庫による)

